

令和4年度 第1回学校評価結果

生徒・保護者・職員ともに4段階で評価。「4:そう思う」「3:ややそう思う」の肯定的な評価をつけた人の割合が70%台以下を課題としてとらえ、分析考察を行っています。

課題(7月)

生 徒	1. 私は、毎日の家庭学習(課題・宿題)をきちんと行っている。(67%)	1年 64%	2年 66%	3年 71%
	10. 私は、学校へ行くのは楽しいと思う。(81%)	1年 81%	2年 76%	3年 86%
	16. 鏡原中学校は、いじめのない学校である。(76%)	1年 73%	2年 75%	3年 80%
	20. 学校は、進路についての資料を、よく提供してくれると思いますか。(83%)	1年 79%	2年 79%	3年 91%
	23. 私は、部活動に積極的に参加している。(73%)	1年 73%	2年 70%	3年 75%
	25. 私は、基本的な生活習慣(言葉づかい、早寝早起き、マナー、読書、TV、スマホ、ゲームの時間管理)が身に付いている。(72%)	1年 74%	2年 72%	3年 69%
保 護 者	6. お子さんは、授業が分かりやすいと感じていますか。(78%)			
	7. 先生は、教材・教具を工夫して、わかりやすい授業をしていると思いますか。(79%)			
	25. 授業参観、PTA作業、学校行事、PTA行事等に積極的に参加していますか。(71%)			
	26. 保護者は、PTA活動に積極的であると思いますか。(61%)			
職 員	27. 地域は、生徒の体験活動に協力的であると思いますか。(74%)			
	28. PTA活動に積極的に参加しましたか。(75%)			

考察

- ・多くの項目で肯定的な評価を付けた生徒が多い。
- ・項目1の「毎日の家庭学習を行っている」は、教師や保護者から見た意見と大きく異なり、生徒は低い評価を付けている。
- ・項目6「授業が分かりやすい」と項目7「先生は、教材・教具を工夫してわかりやすい授業をしている」への保護者の回答で評価が低くなっている。
- ・項目10「私は、学校へ行くのが楽しい」が81%であるが、2年生が低い評価となっている。
- ・項目16「鏡原中学校はいじめのない学校である」が生徒のみ低い評価となっている。大人には見えないところでいじめが存在する可能性がある。
- ・項目23鏡原中学校の生徒は、部活への加入率が高くない。約25%の生徒が放課後何をして過ごしているのか？また、体力の維持・向上面で課題である。
- ・項目25「基本的生活習慣」の生徒評価が低い。充実した時間の管理が課題となっている。

改善策

知	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導観の転換が必要。教え込み中心の授業を改め、生徒が「問い」を持って「自分で考える」、他者と対話しながら学びを深める授業へ。 ・子供の学習観の転換が必要。自分の学びをコントロール。与えられた課題ではなく、今日の自分は何を勉強すべきか自分で考え、計画を立てて実行し振り返って身に付いたことやできなかったことを反省する習慣を身に付けることが目標。 ・教科を学習する意義を伝える。(キャリア教育の視点を取り入れた教科指導の充実) ・同一学年を複数名の教師で担当する教科は、全クラスで使用している教材から作問する配慮をお願いします。(疑念を抱かれないようお願いします。)
徳	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な学校を目指して、学級が安全安心で自分の居場所がある、日々の授業がよくわかる、学校行事を通して充実感や達成感が感受できる、夢の実現を目指して頑張れる等、みんなで頑張っていきたい。 ・生徒のいじめ行為に敏感になって下さい。いじりやからかいも見逃さず注意をする、SNSを介したいじめは発見しにくいので、訴えや情報を聞き漏らさないようにお願いします。 ・指導や注意するときの言葉づかいに気をつけて下さい。 ・充実した時間の使い方の指導を。 ・校則見直しを提案したり見直し作業に参画できる力を育成するために、自分たちの課題を自分たちで解決する取組を積み重ねさせて。(特別活動の充実)
体	<ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代といわれています。健康な人生が送れるよう、体育の授業で体を動かすことの楽しさを教え、健康体力の保持・増進への知識をしっかりと身につけさせる。 ・感染症予防対策。 ・熱中症予防対策。
勤 労	<ul style="list-style-type: none"> ・校内美化への取組、特に、自分たちで花を育てる・学校内や学校周辺を清掃してきれいにするという意識を持たせる。 ・各清掃分担区域の清掃指導の徹底。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生にも進路についての資料を提供し、将来への意識を持たせる。 ・妥当性が疑われる校則については見直しを検討することも必要。 ・制服登校の意義を伝える。 ・学校からの公文配布、情報発信は迅速丁寧に行う。